

事故防止 94号
平成22年8月18日

各都道府県知事
各保健所設置市市長 殿
各特別区区长

財団法人日本医療機能評価機構
特命理事（医療事故防止事業部担当）野本亀久雄
（公印省略）

医療事故情報収集等事業 「医療安全情報 No. 45」の提供について

平素より当事業部の実施する事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、医療事故情報収集等事業において収集した情報のうち、特に周知すべき情報を取りまとめ、8月18日に「医療安全情報 No. 45」を当事業参加登録医療機関並びに当事業参加医療機関以外で希望する病院に提供いたしましたのでお知らせいたします。

なお、この医療安全情報を含め報告書、年報は、当機構のホームページ（<http://www.med-safe.jp/>）にも掲載いたしておりますので、貴管下医療機関等に周知いただきご活用いただければ大変幸いに存じます。

今後とも有用な情報提供となるよう医療安全情報の内容の充実に努めてまいりますので、何卒ご理解、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。





財団法人 日本医療機能評価機構

医療事故情報収集等事業

医療 安全情報

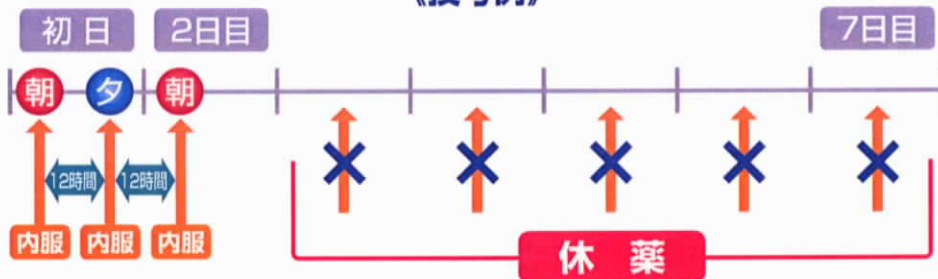
No.45 2010年8月

抗リウマチ剤(メトレキサート)の 過剰投与に伴う骨髄抑制(第2報)

抗リウマチ剤(メトレキサート)の過剰投与に伴う骨髄抑制を医療安全情報No.2(2007年1月)で情報提供いたしました。その後、再び類似の事例が1件報告されていますので、再度、情報提供いたします(集計期間:2006年10月1日~2010年6月30日)。

**抗リウマチ剤として使用されるメトレキサートは
休薬期間が必要な薬剤です。**

《投与例》



メトレキサートの包装シートの改良がされています(イメージ)

メトレキサート カプセル 2mg 「〇〇〇〇」

このお薬は、1週間のうち決められた日にだけ服用してください。



—月—日
(曜日)
朝 ・ 夕

このお薬は、お薬を飲まない期間を必要としますので、服用時には注意してください。

抗リウマチ剤(メトトレキサート)の 過剰投与に伴う骨髄抑制(第2報)

事例

関節リウマチに対し、初めてリウマトレックスカプセルの投与を開始した。医師は、次回来院予定の3週間後までの処方にあたり、毎週火曜日のみ3週間分(実日数3日分)とするところ、コンピュータの処方で曜日指定入力をし忘れ、21日連日投与の入力をした。患者には週1回の服用であることを口頭で簡単に説明し処方箋を発行した。院外薬局でも、薬剤師による服用方法の説明もなく、リウマトレックスカプセル21日分が交付された。そのため患者は処方通りにリウマトレックスカプセルを連日服用した。主治医が処方ミスに気付いた時、患者には骨髄抑制等の症状があり、入院し治療を行った。

抗リウマチ剤として使用されるメトトレキサートの製品

- ・メトトレキサート錠2mg ・メトレート錠2mg ・トレキサメットカプセル2mg
- ・メトトレキサートカプセル2mg ・リウマトレックスカプセル2mg

抗リウマチ剤(メトトレキサート)の誤投与(過剰投与)について、
厚生労働省より通知が出されています。

- 薬食安発第0829001号 平成20年8月29日
- 医政総発第1020001号 平成20年10月20日
- 薬食総発第1020001号 平成20年10月20日
- 薬食安発第1020001号 平成20年10月20日

総合評価部会の意見

**薬剤の包装シートの服薬日時欄を利用するなど、
休薬期間がわかるようにしましょう。**

※この医療安全情報は、医療事故情報収集等事業(厚生労働省補助事業)において収集された事例をもとに、当事業の一環として総合評価部会の専門家の意見に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のために作成されたものです。当事業の趣旨等の詳細については、当機構ホームページに掲載されている報告書および年報をご覧ください。
<http://www.med-safe.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。

※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課したりするものではありません。



財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル

電話：03-5217-0252(直通) FAX：03-5217-0253(直通)

<http://www.jcqhc.or.jp/html/index.htm>